

# 代 表 質 問

令和2年3月9日（月）

石政会代表

19番 伊藤 一治 議員

## 1. 市政執行方針について

①市長の政治姿勢と施策の方向性について

## 2. 執行方針の予算と財政運営について

①税収確保に臨む姿勢と視点について

②財政調整基金について

③財政運営の方針について

## 3. 新年度の主要事業について

①道の駅石狩「あいろーど厚田」を核とした観光戦略について

②石狩湾新港地域の播種的施策について

③福祉事業における人材確保について

④空家対策について

⑤農・漁業、一次産業の施策・推進について

## 4. 教育行政執行方針について

①教育理念「可能性への挑戦」について

②コミュニティ・スクールについて

③ICT教育について

④公民館の現状と今後の在り方について

---

改革市民会議代表

10番 米林 渙昭 議員

## 1. 市政執行方針について

①任期最初の本格予算編成を終えられて

イ. 令和2年度予算は、新規50事業を盛り込み、新しい時代を切り拓く未来の予算編成をおこなった。就任後初めて本格予算編成を終えられ、市長が描く将来に持続可能な活力あるまちづくりを進めるうえで、今後の展望、課題について市長の考えを伺う。

ロ. 課題解決に向け、そして新たな事業を成長させる為にも、舵取り役の責務はさらに重要と思う。そのためにも、市職員の更なるスキルアップが重要と捉える。今

後専門的スキルを持った職員の採用、さらには現職員のスキルアップに向けての取り組みが重要と考えるが、市長の考えを伺う。

## ②主要施策について

### イ. 豊富な自然資源を活用したまちづくり

本市が持つ、海や川、山や森といった地域資源の有効活用を行い、開業3年目を迎える道の駅石狩「あいろーど厚田」を核として、本年度は様々な施策を行い着地型観光の構築を目指している。そこで、本年度は施策を行うことで、着地観光の入り込み数をどの程度の目標数値を定めているのか伺う。また、近年入り込み数が減少している、あそびーちの入り込み数確保に向けてどのような取り組みを行う考えでいるのか伺う。さらに、道の駅石狩「あいろーど厚田」の利用者が100万人を超えたとの報告がありましたが、これまでの経済効果をどの様に分析されているのか伺う。

### ロ. 災害に強いまちづくりについて

執行方針に於いて、一層の緊張感を持って災害に備えなければならない。とのメッセージを発信し、災害対策上の重要な公共施設である本庁舎の停電対策、指定緊急避難場所の生活環境の向上に資する防災備蓄品の整備を行う。その中で、国土交通省は、本年1月道の駅の防災を強化する方針をしめした。2020年に災害時の拠点となる機能を備えた施設を防災道の駅として認定をする制度を創設し、設備整備への助成も検討する方針を示した。指定緊急避難場所に指定している道の駅石狩「あいろーど厚田」も認定制度の指定についての考えを伺う。また、災害に強いまちづくりを進める一方で、市民生活の安心安全を進めていかななくてはならない。執行方針では安心安全な生活環境の取り組みについて、明確なメッセージを受け止められなかったが、警察署誘致も新市長となられ、これまで以上に進めていくべきと考えるが、本年度は誘致に向けてどのような行動を起こしていくのか伺う。

## 2. 教育行政執行方針について

### ①公民館について

イ. 老朽化している公民館について、改修や移転など様々な手法を引き続き検討し、最も適切な対策を見いだすよう努めるとの方針が示された。市内にはその他、分館を2か所、所有されている。今回、対策の検討を行うにあたり、分館、特に老朽が著しい樽川分館の対応についても検討が考えられているのか伺う。

---

日本共産党代表

6番 蜂谷 三雄 議員

## 1. 第一次産業の位置づけや政治情勢を踏まえた施策について

①TPP11、日欧EPA、日米貿易交渉（FTA）など貿易産業を支える役割を農漁業が担わされ

ている実態のなかで一次産業をどのように市政に位置づけていくか

- ②農協等農業団体「改革」の到達及び問題点と地域農協への対応について
- ③農業支援センターの活動は全市的な観点で対応しており先進的な活動を担っているが、新年度の事業について
- ④農漁業者の高齢化と従事者の減少は地域の衰退に直結する問題であり、新規参入に対する施策について
- ⑤公選廃止後の農業委員会の重要な役割について

## 2. 来年度地方財政計画の特徴である人口減少特別対策事業と減少が著しい地域対策について

- ①来年度の地財計画の特徴として、人口減少特別対策事業のなかで地域社会再生事業費が交付税の需要額に算定計上されている。市政執行方針に触れられていない理由は何か
- ②人口減少が著しい浜益区において地域コミュニティを維持する集会所の建設が急がれる。川下、柏木地域は広大であり住民にとって1か所に集約化は難しいと考える。現行の交付税支所加算の財源も考慮し、地域維持・再生の観点から福祉施設も含め新年度にどう地財計画の精神を生かして具体化されるか

## 3. 国保税の引き下げを求める

- ①国保広域化により、本市は2年連続引き上げを行っている。国保税について前年度水準を維持するとしているが、国保税の負担の重さは申し上げるまでもないことで、引き下げの条件は各指標からも十分に有しており、事業目的税の特徴からも来年度の実施を求めたい。

## 4. 環境基本計画について

- ①「第2次石狩市環境基本計画」の検証・評価としているが、現在計画進行中の超大型洋上風力発電について

---

公明党代表

2番 阿部 裕美子 議員

## 1. 市政執行方針を受けて

- ①「豊富な自然資源を活用したまちづくり」の中の、道の駅「あいろーど厚田」について
  - イ. 季節に合わせた閉館時間の取り組みについて
  - ロ. 新鮮な野菜・海産物の販売について
  - ハ. 市民・利用者からの声を生かす事について
- ②「共生・協働社会の構築」の中の、ひきこもり支援について
  - イ. 支援が必要な方に、支援を届ける為に
  - ロ. 事業内容・担当者などの周知について

ハ. 今後の支援体制の拡大について

③福祉施策について

イ. 「交通安全サポート車」の購入補助の周知について

ロ. 高齢者ドライバーの体験型講習会にサポカーの活用を

ハ. 運転免許証返納者への特典について

④「災害に強いまちづくり」について

イ. 災害発生時の情報共有について

ロ. 防災・減災、災害時の為のドローン活用について

ハ. 自助の推進の為「マイ・タイムライン」の作成について

## 2. 教育行政執行方針を受けて

①通級指導教室の増設について

イ. 現在通われている生徒の人数とその居住地について

ロ. 検討の時期・地域・生徒、保護者の意見を取り入れる事について

②公民館について

イ. 今後の検討の時期・方法について

ロ. 文化・芸術の活動、発表にふさわしい拠点づくりを